

トピックス

TOPICS 1 レンタル事業展開に関する合同会社設立のお知らせ

当社は、グローバル金融サービス機関であるマッコーリーグループの日本法人マッコーリーアセットファイナンスジャパン株式会社との共同出資により、ICT※1関連機器のレンタル事業を展開する合同会社を設立することに合意しました。

大企業やデータセンターなど大口ICT需要者層のTCO※2削減ニーズに対するソリューションとして、使用期間の最適化やサービスの使用量に応じた課金などを柔軟に行うことができるレンタル事業を展開する予定です。詳細は、決定次第ウェブサイトなどでお伝えいたします。

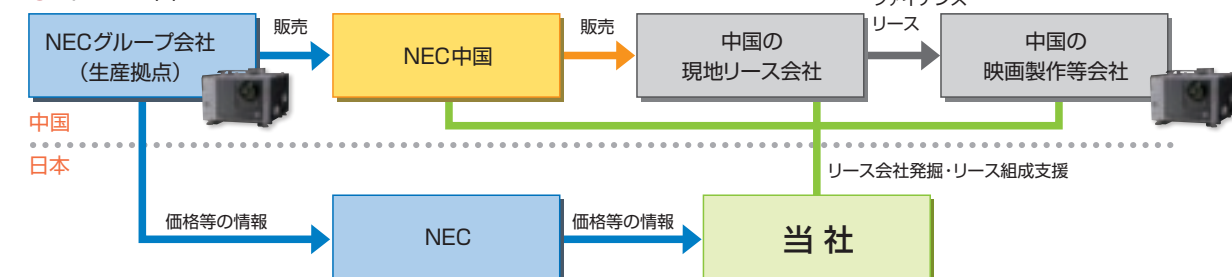
当社の情報はウェブをご参照ください。 <http://www.necap.co.jp/>

TOPICS 2 ファイナンスアレンジャーとしてNECの中国での拡販に協力

当社は4月に発表した中期計画2011において、経営方針のひとつに「NECグループとの関係の更なる強化」を掲げています。NECが製品を売る場面における、リースや営業貸付といった従来の手法とは異なる当社の新たな役割をひとつご紹介します。

NECが、中国の映画製作・配給・興行を一手に手がける会社に対し、NECグループ製のデジタル・シネマ・プロジェクター※を販売する際、当社がファイナンスアレンジャーとなり、現地リース会社による人民元建リースを組成し、NECへの販売貢献が実現しました。

● イメージ図



調印式での集合写真

※1 ICT
Information and Communication
Technology、情報通信技術
※2 TCO
Total Cost of Ownership、コン
ピュータシステムの導入、維持・管理な
どにかかる費用の総額

※ デジタル・シネマ・プロジェクター
映画館で、フィルムを使用せずにデジタル映像をスクリーンに投影する装置。傷やほこりが劣化を招くフィルムとは異なり、映写回数を重ねても画質が変わらず、デジタル化された映像はDVDや衛星で送信できる。フィルムの作成費や輸送費が大幅に下がることや、著作権管理が容易になることが期待されている。また、映画だけでなくさまざまなコンテンツや広告が上映できるようになるため、映画館が新たなビジネスモデルを模索することも可能になる。

I R C a f é



映画「はやぶさ 遥かなる帰還」にPCを4台提供

2012年2月11日(土)から全国公開中の映画「はやぶさ 遥かなる帰還」(配給:東映)の撮影用PCのうち、4台を提供いたしました。旧モデルのNEC製PCが必要ということで、満了品を提供したものです。映画への協力は当社初であり、このような形で満了品がお役に立ったことも初めてです。

営業担当者は、制作側のご厚意により撮影現場を見学させていただくことができ、主演の渡辺謙さんに、当該PCを使用したセット「山口教授の部屋」を案内していただいたそうです。

なお、映画のエンドロールには協力会社であるNECおよびNECグループ数社の社名が表示されますが、その中に当社の社名も含まれております。



©2012「はやぶさ 遥かなる帰還」制作委員会
公式サイト ロケーションマップより「山口教授の部屋」

株主優待品ランキング

7月にお送りした株主優待品カタログギフトについて、11月までにお申し込みの多かった商品をご紹介します。これまでは「お米」が人気でしたが、震災後の夏を前にした時期だったこともあり、少し変化があったようです。

対象となる株主様	1単元(100株)以上の株式を 1年未満保有	1単元(100株)以上の株式を 1年以上保有
カタログギフト名	あけび(2,000円相当)	かえで(3,000円相当)
1	ロイヤルシェフカレーセット	山形県産サンふじりんご
2	富良野にんじん100	十勝白い牧場アイスクリーム
3	ロールケーキセット	山形県産水蜜桃
備考	比較的保存がきき日持ちがする物が多かった	生鮮品が好まれた

1Rカレンダー

3月上旬 第3四半期株主通信発行(本冊子)
4月下旬 2012年3月期決算発表
6月上旬 定時株主総会招集通知、
株主優待のご案内の発送
6月下旬 定時株主総会開催予定
7月上旬 株主優待品の発送(3月末日の株主様対象)

編集後記

株主通信の表紙は一足早く春らしい雰囲気ですが、お手元に届く頃はまだ寒い日が続いているのではないのでしょうか。

トピックスのページでは、当社の新しい動きをご紹介いたしました。当社はこれからも、従来のリースをはじめとした各事業を中心に、さまざまな新しい取り組みに向けて注力していきます。時期に応じて、できるかぎりわかりやすくご紹介していければと思っています。今度ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。(T)

NECキャピタルソリューション REPORT

第
42
期

2011年4月1日 ▶ 2011年12月31日
株主通信 第3四半期

【トピックス】 レンタル事業展開に関する 合同会社設立のお知らせ

Empowered by Innovation

NEC



NECキャピタルソリューション株式会社



本冊子は環境に配慮するため、適切に管理された森林資源を原料としたFSC®認証用紙に、植物油インキで印刷しています。

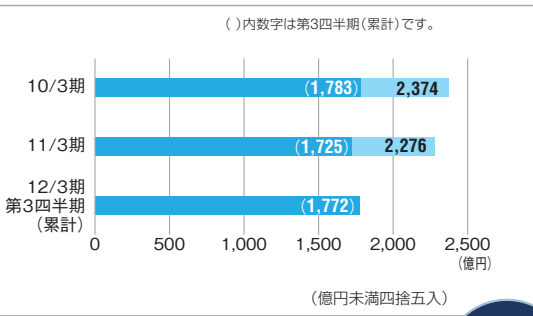


証券コード: 8793

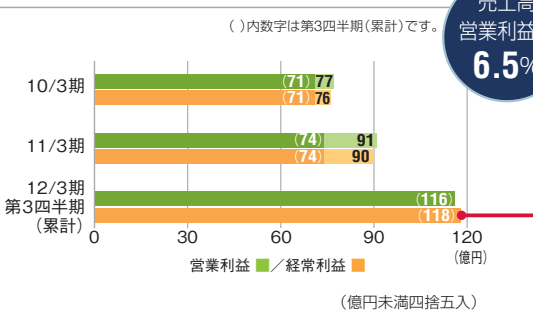
2012年3月期第3四半期累計期間 連結決算ハイライト



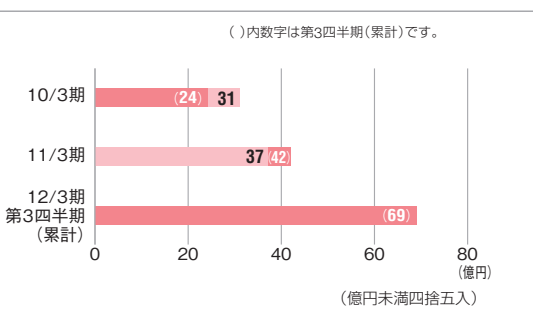
売上高は、株式会社リサ・パートナーズ(以下、リサ・パートナーズ)が連結対象に加わったことにより、前年同期比で増加しております。



営業利益および経常利益は、資金原価の改善や貸倒費用等の減少により増益となりました。



四半期純利益は、経常利益が増加したことに伴い増益となり、過去最高益となりました。



※ リサ・パートナーズが連結対象に加わっております。同社の決算期は12月であり、3月決算の当社とは決算期にずれがあるため、今回の決算では、同社の第3四半期(1～9月)の業績を取り込んでおります。

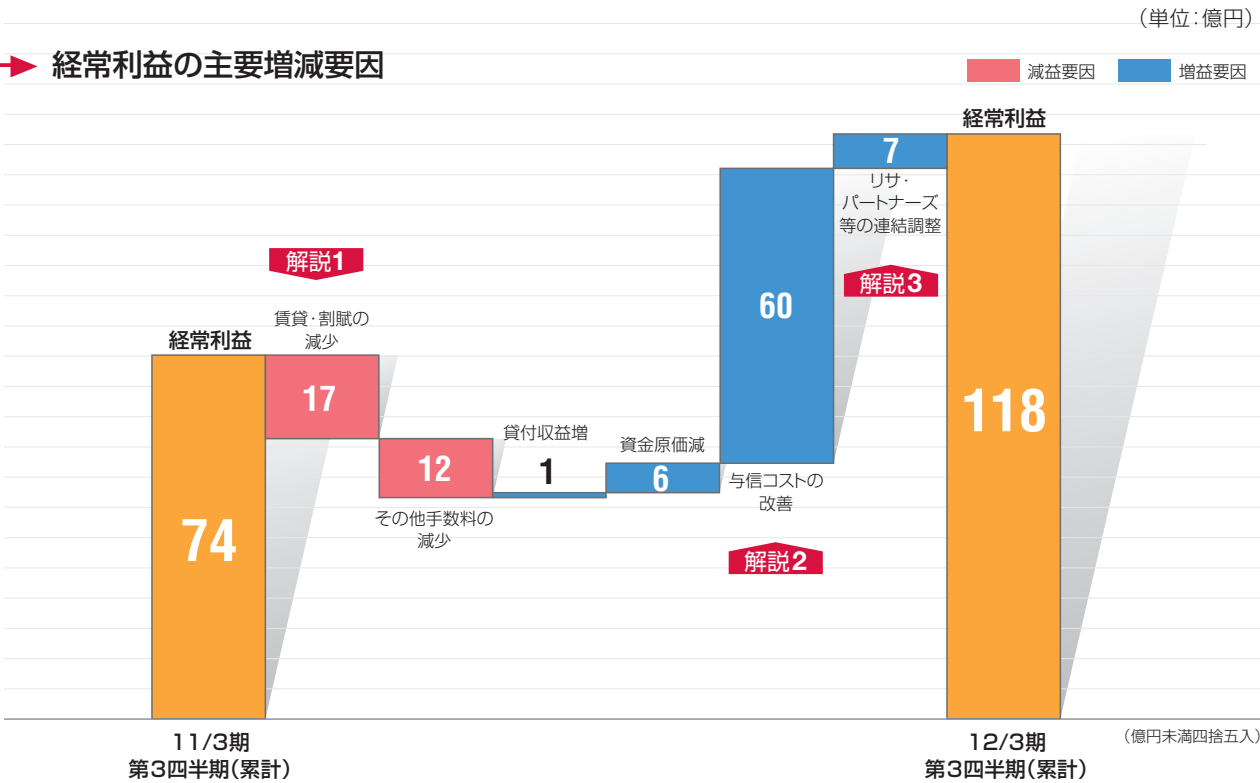
決算の詳細情報は
ウェブをご参照ください。

NECキャピタルソリューション IR

<http://www.necap.co.jp/ir/>

検索

経常利益の主要増減要因



解説1 貸倒・割賦の減少

貸倒・割賦事業の新規契約実行高の減少により売上高が減少しており、経常利益ベースでは、17億円の悪化要因となっています。

解説2 与信コストの改善

かねてより推進している与信管理体制強化の取り組みが奏功していることや、回収に伴う引当金の戻入なども影響して貸倒費用は大幅に改善しました。

解説3 リサ・パートナーズ等の連結調整

リサ・パートナーズの経常利益にのれん代等の連結調整を加味した結果、7億円の増益要因となっています。

営業の概況

ここでは足元の営業状況を示す指標について解説いたします。

事業別契約実行高

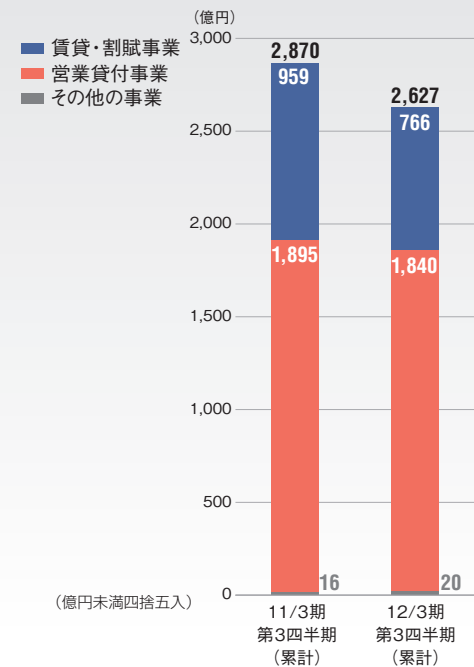
契約実行高は、前年同期比8.5%減の2,627億円となりました。

賃貸・割賦事業

リース市場が縮小傾向にあり競争が激化していることに加え、小口リースの新規取扱を政策的に停止したことから前年同期比20.1%減の766億円となりました。

営業貸付事業

東日本大震災によるサプライチェーン寸断の影響によりNECグループ向けの一括ファクタリングの取扱高が減少し、前年同期比2.9%減の1,840億円となりました。



営業資産残高

営業資産は前年同期比3.7%減の6,816億円となりました。

賃貸・割賦事業

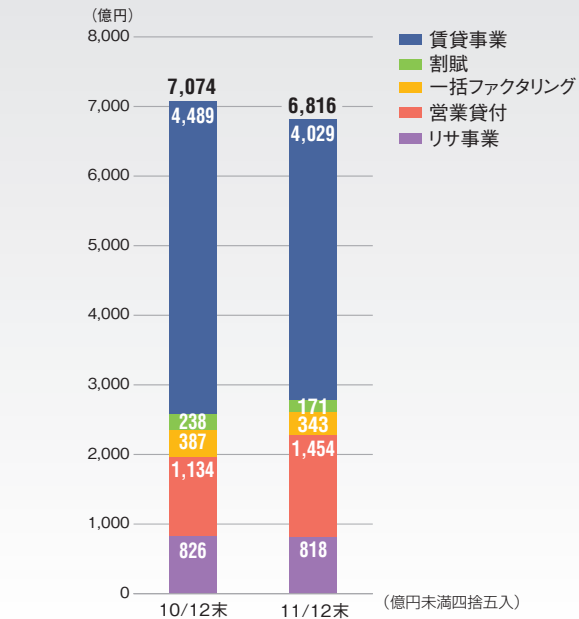
新規契約実行高の減少等の影響により、前年同期末比11.1%減の4,200億円となりました。

営業貸付事業 (一括ファクタリングを除く)

企業融資の増加や個別ファクタリングの大型案件獲得などにより、前年同期末比28.2%増の1,454億円となりました。

リサ事業

大型の投資案件などもあり投資有価証券が増加しているものの、販売用不動産の売却が進んだことから、前年同期末比1.0%減の818億円となりました。



※ 今期より、リサ・パートナーズに関連する項目を「リサ事業」として新しくセグメント表示しております。